

J A U W

発行所 〒160-0017
東京都新宿区左門町11番地6の101
社団法人 大学婦人協会
電話 03-3358-2882
FAX 03-3358-2889
http://www.jauw.org
E-mail: jauw@jauw.org
発行人 田中正子
編集責任者 佐々木澄子

おもな記事

- 1面 全国セミナー2007、特別委員会の活動報告、第29回IFUW総会報告、中村ミチコさんを偲ぶ会
- 2面 国際奨学生、支部より、新春のつどい、自然科学講演会のお知らせ、若手会員マントチェスター総会見聞録、新入会員、理事会から

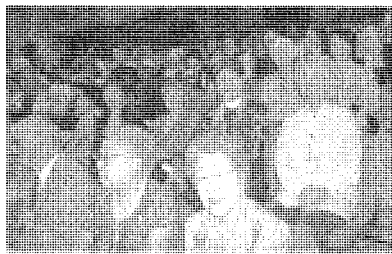
第29回 I F U W 総会報告

～参加者全員がそれぞれの分野で活躍、各国との交流を深めた～

2007. 8. 10～16 マンチェスター (イギリス)

国際委員長 穂田信子

開会式会場での会員



英国では、アイルランド、スコットランド、イングランドでそれぞれ異なるお国気質を好んで茶化すという。「お客さんから紅茶が甘くないと言われると、アイルランド人は砂糖壺ごとドンとテーブルに置いておめ、スコットランド人はちゃんとまぜたか、と問い、イングランド人は、あとお匙で何杯と聞く」とか。

総会会場は体育館。演台は仮設で飾りは常緑

樹のプランターが数個。長机と椅子を並べた代議員席のほかは階段席と至極素っ気ない。そこに羽根飾りの帽子を被り礼装した貴婦人、マンチェスター市長、アイルランド元大統領のメアリ・ロビンソンを迎え、ケニオン会長が開会を宣言した。

ロビンソン氏は、IFUWのテーマの人間の安全保障を生存と尊厳を守ることと言いつつ、人権宣言29条の「地域共同体への義務」に通じると指摘。個人は地域で生きるのだから人権の拡大には地域活動が本質的に重要だと述べ、IFUWの活動の発展を期待すると結んだ。

本会議では会長にニュージーランド出身で昨年来日したルイズ・クルート Louise Croot、副会長に Sushil Bhardwaj (印)、Marianne Haslegrave (英)、Shirley Randell (ルワンダ)、Phyllis Scott (カナダ) が選ばれた。選挙管理委員をつとめた林恭子会員ほか、若手の柳本、井坂、山下会員が甲斐甲斐しく働いた。

本会議：会員資格に関する定款を改め、各国の判断を優先させるという流れができた。また提案提出締切の繰り下げ案には、国際委員会で作った日英対訳の実物を見せ、委員長が翻訳と内容の国内審議の時間が必要と訴えて否決に導いた。ヨーロッパ人が英語に苦勞し反発する姿も見た。多様性をお題目とせず、実践するのは簡単でないことがよくわかった。

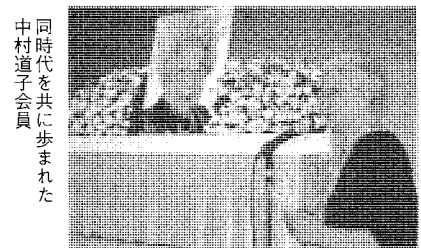
JAUWのワークショップ3つ：お茶会には多くの会員が着物姿で支援に参集し、福永和子、五十嵐康子会員、内野雅子さんがお手前を披露。時枝会員：「当日参加者は141人。『平和の祈り』で静かに始め、お互いを点茶サービスで結ぶセッションを5回繰り返しました。『人間の安全保障と平和の基礎は、祈りと文化にあると実感した』というお礼も言われました JAUW チームワークの稔りと感謝しています」

紙芝居を用いて平和教育に関する発表を行った植原映子会員：「広島を訪れて、『私にもできる何か』を探しました。その思いが『Hiroshima and Pictures for Peace by Ikuo Hirayama』となりました。パートナーの中村久瑠美さんと応援に来てくれた日本の方々に感謝します」翌日、中明博美会員が議場で平和への意思を重ねて表明した。

女性の地位委員会の房野、廣田、平井、田中正子会長は海外の会員との混成チームで女児問題を多角的に論じた。房野会員：「これまでに参加したどのワークショップよりもよかった」というのが、カナダの会員の感想でした。参加者40名以上。司会をしてくれたカナダのCIRローズ・ビーティのおかげです」

青木怜子会員は、前IFUW会長としての役目とセミナー発表の両方をこなした。「国政・地方行政・企業での日本女性の役職への登用状況を、直近年のデータにより過去と比較し報告した。スケジュール変更でミスした人たちも多かったが、日本から多数参加があって大感謝」

会員31名と同伴者7名は広いキャンパスで、あるいは半日旅行やガラディナーで国際交流を存分に楽しんだ。



同時代を共に歩まれた中村道子会員

「中村さん」の仕事ぶりには、学ぶところが沢山ありました。慎重であり緻密で行き届いた配慮をなさり、責任感の強い方でした。正に女性のロールモデルと言える存在で、私どもにとっても、空白をどのように埋めてよいか戸惑うようなものです。「中村さん」の志を私も継いで、思いやり、深い人間関係を保ちながら、今後の仕事を進めて行きたいと思っております。半世紀の友情に感謝しつつ、心からご冥福をお祈りいたします。

今回のセミナーのポイントは世代を越境するコミュニケーションです。協会60年の歴史・伝統を守り育ててこられた先輩とこれから活躍の旬を迎える若手が心を合わせ、思いをつくして「教育とジェンダー」について考え、知恵を集めて発信する場にしたいとの願いをこめて2日間のプログラムと前夜祭コンサート「女性作曲家を聴く」を企画しました。グローバル化した世界が、そして少子高齢

化の日本がパラダイムを迫られている今このとき、人間社会の根幹をささえる「教育」にたかえり、昨今かまびすしい教育問題を現場と行政、実践と理論の両サイドからあらためて考えたいと思います。そのさい「ジェンダー」の基本理念を正しく理解しておくことは欠かせません。昨年10月に実施した「ジェンダー問題を考えるシンポジウム」高等教育の視点から」の報告書にも明らかとなっております。

★セミナーの魅力
基調講演 天野正子氏 お茶の水女子大学名誉教授。東京女子大学学長に就任されました。教育・ジェンダー論の第一人者。奨学金受賞者との対談 若手研究者たちは今、きびしい競争社会の中でどんな道を切り拓いているかをききます。

若手会員育成金の研究報告 協会の新しい担い手に温かいご支援をお願いします。研究発表 7支部2委員会から最近の研究成果が報告されます。国際問題から社会、教育、政策等、多彩な成果に乞うご期待。パネルディスカッション「中等教育をめぐって」 子どもたちの国語能力の低下、女子生徒の理科・数学ばなれ、小学校への英語学習導入の功罪、性教育をいかにすすべべきかなど、文科省の指導要領が変わるたびに教育現場は様々な問題に直面しています。経験豊富な

称変更」に基づく定款変更を諮る必要があります。認定基準を満たすためには、申請時に必要とする「新法に完全に合致した定款の変更案」を作成しなければなりません。この変更案は新法施行後の平成21年春の総会で承認されればよいのですが、それに先立つ平成20年4月の総会には、本年度の総会で可決された「名称変更」に基づき定款変更を諮る必要があります。また、平成16年10月に、総務省から公表された新公益法人会計基準（新会計基準）は、現行公益法人でもできるだけ速やかに移行するように指導を受けていますが、公益認定申請をする場合には、早期にこの新会計基準への移行が必要です。そこで、平成19年度の決算からこの新基準に移行することを考えて、特別委員、会計理事、財務委員等により、その方策の検討を行っています。

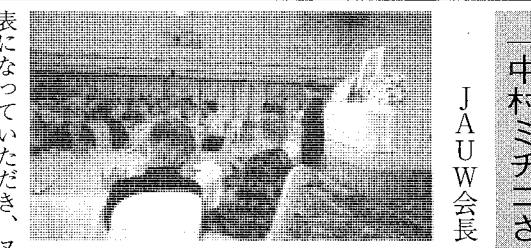
全国セミナー2007
「教育とジェンダー」
11月22日(木) 18時30分 津田ホール
国内奨学金支援レクチャーコンサート
「女性作曲家を聴く」
グレンダール没後100年
シャミナード誕生150年を記念して
お話し：小林緑(国立音楽大学教授)
11月23日(金)、24日(土)
「全国セミナー」津田塾会本館

このとき、人間社会の根幹をささえる「教育」にたかえり、昨今かまびすしい教育問題を現場と行政、実践と理論の両サイドからあらためて考えたいと思います。そのさい「ジェンダー」の基本理念を正しく理解しておくことは欠かせません。昨年10月に実施した「ジェンダー問題を考えるシンポジウム」高等教育の視点から」の報告書にも明らかとなっております。

平成20年12月1日に新公益法人制度が施行されますが、大学婦人協会は、新法での「公益社団法人」に移行するための認定申請に向けた準備を始めています。そのための特別委員会の設置が、本年4月の福岡総会で承認されましたが、委員には阿部幸子、市川知恵子、大森たへ子、鷺見八重子、城倉純子、西村寿美子、丸山庸子、森川淳子、縄田眞紀子各会員が委嘱され、会長出席のもとに毎月1回の委員会が開催されています。

認定基準を満たすためには、申請時に必要とする「新法に完全に合致した定款の変更案」を作成しなければなりません。この変更案は新法施行後の平成21年春の総会で承認されればよいのですが、それに先立つ平成20年4月の総会には、本年度の総会で可決された「名称変更」に基づき定款変更を諮る必要があります。また、平成16年10月に、総務省から公表された新公益法人会計基準（新会計基準）は、現行公益法人でもできるだけ速やかに移行するように指導を受けていますが、公益認定申請をする場合には、早期にこの新会計基準への移行が必要です。そこで、平成19年度の決算からこの新基準に移行することを考えて、特別委員、会計理事、財務委員等により、その方策の検討を行っています。

「中村ミチコさんを偲ぶ会」
JAUW会長 田中正子
去る6月16日に亡くなられた中村ミチコさんを偲ぶ会が、9月8日午後東京王プラザホテルで行われた。大学婦人協会の他、日本汎太平洋東アジア婦人協会、ユニフェム東京、国連NGO国内婦人委員会の各代表の方にも発起人代表になつていただき、又エック元館長などをはじめ、北は秋田から南は熊本まで約150人がご参加くださった。

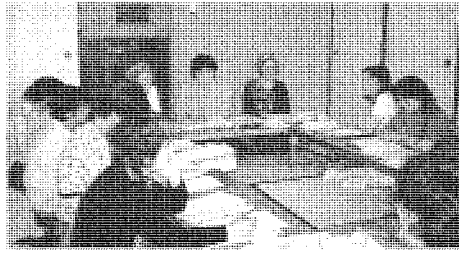


黙とうの後、野瀬久美子、江尻美穂子、五十嵐康子、中村道子、田中正子の各発起人代表の挨拶、青木怜子氏による献杯で、食事にいった。食後は、弔電、メッセージ、ポイントによる想いの写真の披露、そして森山眞弓、大野曜、山口みつ子、丸山庸子、高橋千夏、西芳子の皆さんが想い出を語ってくださいました。最後に有馬真喜子氏と今井けい氏の挨拶で閉会となった。人に優しい謙虚なお人柄を偲び集まった方々の心温まる交流の会であった。

支部の活性化をめざして

静岡支部長 鈴木キミエ

静岡支部は、今年4月に創立60周年を迎えました。50周年のときは簡単な年表をまとめましたが今回は写真も入った充実したものを用意して...



セミナー発表に向けての勉強会

60周年記念行事の準備と同時に、今年7月5日から毎月、勉強会を開いています。支部チームは男女共同参画の新しい分野「防災」を取り上げ、「女性と地域防災のかかわり」と決めました。1回目の勉強会では、新会員となった30代の松田恵子さんも参加され、活動を...

7月の「男女共同参画の日」県民フェスティバルに参加して、ワークショップを行いました。静岡県立大学看護学部・防災サークルの4年生男女2人を招き、防災に関するパネルディスカッションを実施し、真剣に防災問題に関する意見交換を行うことができました。4回目の8月の勉強会では、試行錯誤しながら400枚弱のアンケートを出すと午前・午後までかかって行いました。9月27日には支部主催の講演会を開きます。講師は富士常葉大学環境防災学科の教授、重川希志依さん(中央防災会議委員)です。支部会員の林幸子さん(本年度社会福祉委員会委員)を通して、林千代社会福祉委員長のお力添えで、木村りえさん(2002年度社会福祉奨学生。フェリス学院大学音楽部器楽科ピアノ卒)に、60周年の記念行事としてのピアノコンサートを3月16日にお願ひできる運びとなりました。支部発展のために会員一同、力を合わせていきたいと思っています。

JAUW新春のつどい

今年度も恒例「JAUW新春のつどい」を以下のように開催いたします。この会に初めての方も、共に集い、食事に懇談に楽しいひとときをお過ごしください。なお、この会は「国内奨学金贈呈式」も兼ねており、さらにミニコンサートも開きます。未来の希望、意欲にあふれる奨学生たちのスピーチやすてきな音楽に耳をお傾げください。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

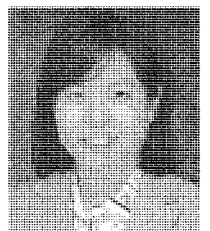
記

日時 2008年1月12日(土) 11:00~14:00
場所 京王プラザホテル 南館5F 「コンコード」
ミニコンサート 箏(二十五弦) 演奏 荒井美帆氏
薩摩琵琶 演奏 荒井靖水氏

会費 10,000円
申込先 (社)大学婦人協会本部事務所
Tel: 03-3358-2882 Fax: 03-3358-2889
E-mail: jauw@jauw.org
締切日 2007年12月14日(金) (振り込みとも)
振込先 東京三菱UFJ銀行四谷支店
普通預金・口座番号 1077777
別号 (社)大学婦人協会 理事 田中正子
*財務委員会のバザーを行います。寄贈品およびお買い上げにどうぞご協力ください。

2007年度国際奨学生

ファン・シン・ユンさん(韓国)



ファン・シン・ユンさん

2007年度国際奨学生は、応募者がわずか2名、いずれも韓国から、という寂しい状況でした。審査の結果、ファン・シン・ユンさん1名だけを2007年度国際奨学生の候補者として選り、理事会で承認されました。ファンさんは九州大学交換留学生として、「日...

《理事会から》

- 各委員会の「規定」と「業務」の見直しが進められ、小委員会を設立。
●前年度の国際奨学生シユワニツツさん(ドイツ)の研究論文(英訳)が、協会に送られてきました。事務所に保管してあります。
●今年も丸大食品(株)にご協力下さい。

第7回自然科学講演会のお知らせ

『ドラッグデリバリーに科学ができること
一薬の副作用をなくすために』
講師 岩村道子 会員(科学研究奨励委員会)
東邦大学名誉教授・理学博士

日時 12月15日(土) 14:00~16:00
場所 お茶の水女子大学理学部3号館2F 会議室
申し込み 12月12日(水)までにJAUW事務所へ。
皆様のご参加をお待ちしています。会員以外のお友達やご家族などのご来場も歓迎です。

科学研究奨励委員会(東京支部・お茶の水女子大学と共催)

若手会員

マンチエスター総会見聞録

「人権」問題について多くを学ぶ

静岡支部 山下いづみ



若手会員: 右より井坂、柳本、山下会員

若手会員として、IFWです。総会では、「人権」UW総会に参加できました。問題について多く学びました。ありがとうございます。「人権」とは女性...

地域での活動の大切さを実感

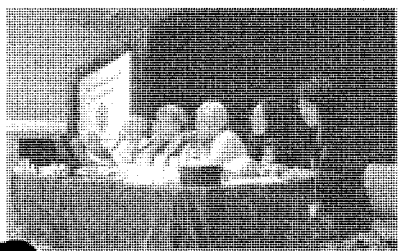
茨城支部 井坂美子

IFWマンチエスター総会では、オフイシャールセッションの他、ヤングメンバーズの研修、初回総会参加者を対象としたワークショップなどに参加しました。さらに、...

「若手会員リーダー」トレーニング・プログラムに参加

愛知支部 柳本祐加子

協会のご支援により総会に出席することができ、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。わたしは「若手会員リーダー・トレーニング・プログラム」に参加...



のタイムキーパーで活躍中の若手会員たち

協会のご支援により総会に出席することができ、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。わたしは「若手会員リーダー・トレーニング・プログラム」に参加...

新入会員 (30名) 2007年6月~10月 理事会承認

Table listing new members by branch: 仙台支部, 愛知支部, 佐藤明日可(姫路独院), etc.

丸大食品 心を込めて、おいしい贈り物
ご家族みんなが元気になる丸大のギフト
お歳暮・お中元はもちろん快気祝・記念品御礼等お気軽に御用命下さい
特別価格にてご奉仕いたします
丸大食品株式会社
首都圏特販営業課 担当 中島
〒135-0051 東京都江東区枝川2-23-2
TEL 03(3647)3270 FAX 03(3647)3274